

建設計画に係る平成20年度～22年度実施事業に関する意見に対する対応調書

地区名：塩江

地区名	項目番号	項目	事業の内容	担当部局	担当課	対応策
塩江地区	- 1	南部クリーンセンターの周辺環境整備	香東川親水ゾーン整備事業 1. 多目的道路整備工事 工区 音川～観月橋の整備（H18-H21） 工区 関～音川の整備（H22-H25） 2. 関、音川地区の散策道周辺の整備（H20-H21） 3. 上中徳公園整備工事（H20） 4. 土地改良区事業の地元負担金補助（H20 - H25）	環境部	環境政策課環境施設対策室	香東川親水ゾーン整備事業は、南部クリーンセンター整備に伴う周辺生活環境整備事業として、地元住民の要望のもと、塩江町安原地区の活性化と自然環境の保全の観点から、香東川周辺を潤いとやすらぎの親水ゾーンとして整備を進めています。 当該事業は、平成18年度に事業着手しており、音川橋より上流部の多目的道路を整備し、地域内のネットワークを図るとともに、音川橋下流部の整備に着手する予定です。また、地域のコミュニケーションや子どもの遊びの場等の役割を担う上中徳公園（仮称）を整備するとともに、土地改良事業による農業基盤や生活環境の改善を推進していきます。
塩江地区	- 2	森林の保全と活用	塩江町地域の豊かな自然環境は、水源涵養をはじめ、多面的重要な役割を有しています。この環境を守り有効活用を図るため、松くい虫の伐倒処理等森林整備を計画的に行うことを要望するものです。 また、不法投棄防止や適切な森林整備を行うことを目的に、森林パトロール員の定期的な巡回を要望するものです。	産業部	農林水産課	松くい虫の伐倒処理等森林整備の計画的実施については、山林所有者、森林組合等と十分連携を図る中で対応するとともに、森林パトロールについては、香川県が委嘱している塩江地区の「香川県みどりの巡視員」の定期的な巡視活動や県市職員による一斉巡視の中で対応していきたいと考えています。
塩江地区	- 3	市民の森づくり	橋谷・黒石地区の市有林70haを活用し、山桜や合歓をテーマとした地域景観の整備を進める中で、住民や来訪者が自然に親しむことができるよう市民の森づくり事業として整備を要望するものです。	産業部	農林水産課	塩江地区では、市民が散策や野外レクリエーションなどを通じ、自然とふれあい、親しむことができる大滝山自然休養林や松尾生活環境保全林が整備されています。橋谷・黒石地区の市有林については、森林ボランティア団体や企業・NPO法人等による森づくり活動を含め、その活用策等について、検討していきたいと考えています。
塩江地区	- 1	統合小学校の建設	平成15年の塩江町教育問題協議会での答申を踏まえ、小学校の統合・新校舎建設について保護者や地域住民の理解と協力が得られるよう、地元説明会を開催しながら統合小学校の建設を行うことを要望するものです。	教育部	総務課新設統合校整備室 学校教育課	合併前の塩江町での協議状況を踏まえるとともに、過疎化・少子化に伴う適正な学校運営を確保するため、塩江地区の3小学校を統合する予定です。 また、塩江中学校の施設老朽化を考慮し、小・中一体型の施設整備についても、あわせて検討していきたいと考えています。 なお、合併における建設計画に重点取組事項として位置付けられていることから、地域審議会での協議を踏まえながら取り組みたいと考えています。
塩江地区	- 2	移動通信用鉄塔施設整備事業	塩江地区における携帯電話の利用可能な地域を拡大し、地域間の情報通信格差是正を図り、地域住民や観光客の利便の向上、緊急時や災害時における緊急時の連絡体制の確保を図ることを目的に整備を要望するものです。	総務部	情報システム課	現在、塩江地区においては、ケーブルテレビ網を整備し、それを活用した告知放送、IP電話により、情報格差の是正に取り組んでおりますが、携帯電話の利用エリアの拡大については、現段階では、民間事業者の状況を見守りながら、現状の把握に努めていきたいと考えています。
塩江地区	- 1	公共交通の整備	塩江町のコミュニティバスは、民間路線バスの廃止代替バスとして、長年地域に密着した運営形態を行ってきています。このため、今後も利用促進を図り、適切な運行の維持・確保を行っていくことを要望するものです。 また、地域内外への各種会合に対し、地域住民の参加を支援し、活力ある地域づくりを推進することを目的に、市が保有するマイクロバスの有効活用を行うことを要望するものです。	都市整備部 財務部	都市計画課交通政策室 財産活用課	塩江町コミュニティバスについては、塩江地区コミュニティバス等利用促進協議会において、利用率向上に向けた改善案を取りまとめ、試験運行に取り組んでいるところであり、今後とも、同協議会において、利用率向上に向けた協議を行います。 現在、市が共用利用目的で所有しているマイクロバスは3台あります。他の合併地区との均等対応等から、市の実施事業以外の使用に供することは困難ですが、今後、地元マイクロバスを払い下げること検討する中で、有効活用を図っていきたいと考えています。
塩江地区	- 2	後川地区橋梁整備	町道大向線、町道芦川線を生活道としている芦川・後川住民にとって、国道193号線と結ぶ連絡橋は、塩江橋と後川潜水橋のみです。また、後川地区にはホテルと文化の里があり、観光の拠点となっています。 しかし、高水位になると後川潜水橋は使用不能となることから、通行における安全性の確保、利便性の向上を図るため、橋梁の新設を要望するものです。	都市整備部	道路課	後川地区橋梁整備につきましては、現在の後川潜水橋では高水位のたびに通行止めとなり、地域住民の生活道としての機能が阻害されていることから、今後、河川および道路の管理者である県と協議し、国、県の補助制度や合併特例債の活用などに留意する中で、検討していきたいと考えています。
塩江地区	- 3	県道中徳三谷高松線の整備	県道中徳三谷高松線は、合併前の香川県事業の要望時には香川町につながり、高松市と接していないため建設計画の掲載から外されています。現在は、同じ高松市として交流を図る必要がありますが、その東谷区間は道幅が狭く往来に支障をきたしています。 このようなことから、この区間の整備を事業主体である香川県に対して強く働きかけを行うことを要望するものです。	都市整備部	道路課	県道中徳三谷高松線の整備につきましては、道路管理者であります県に要望していきたいと考えています。